

2025年12月期 第1四半期 決算説明資料

2025/05/12



アース製薬株式会社

エグゼクティブ・サマリー

25.1Q決算

売上高 : 447.8億円 (計画比 ▲0.2% ▲0.6億円)

営業利益 : 62.6億円 (計画比 +22.9% +11.6億円)

- 売上：
 - 国内虫ケア : 出荷は順調に推移、25年の価格改定の実施効果は今後注視
 - 国内日用品 : 入浴剤の出荷が好調、口腔衛生は昨年からの施策効果が顕在化
 - 海外 : エリアによってバラつきはあるが全体では計画並み、現時点での米国の関税影響なし
 - 総合環境衛生 : 契約件数の順調な増加により好調な推移
- 粗利 : 高単価製品へのシフト等、売上構成の変化により粗利率が改善
- 経費 : 予算からの下振れにより増益、2Q以降の経費使用を引き続き注視

為替の状況

計画レートに対して円安基調で推移

- BAHT、VND、MYR、PHPが計画に対して5%前後の円安
- 円換算後の数値に影響を及ぼす

為替	24.1Q 実績	25.1Q 計画	25.1Q 実績	前期比	計画比
元	20.83	21.00	20.59	1.2%円高	2.0%円高
BAHT	4.16	4.20	4.40	5.8%円安	4.8%円安
VND	0.00610	0.00556	0.00586	3.9%円高	5.4%円安
MYR	32.03	32.07	33.81	5.6%円安	5.4%円安
PHP	2.71	2.48	2.63	3.0%円高	6.0%円安
USD	151.41	153.00	149.52	1.2%円高	2.3%円高



2025年12月期 第1四半期決算概要

決算ハイライト

- 前期比は、増収増益
- 計画比では、売上高はカテゴリごとの入り繰りがあるものの、全体では想定ライン
営業利益については、売上原価率の改善及び販管費の計画下振れにより、1Q時点では上振れ

(単位：億円)

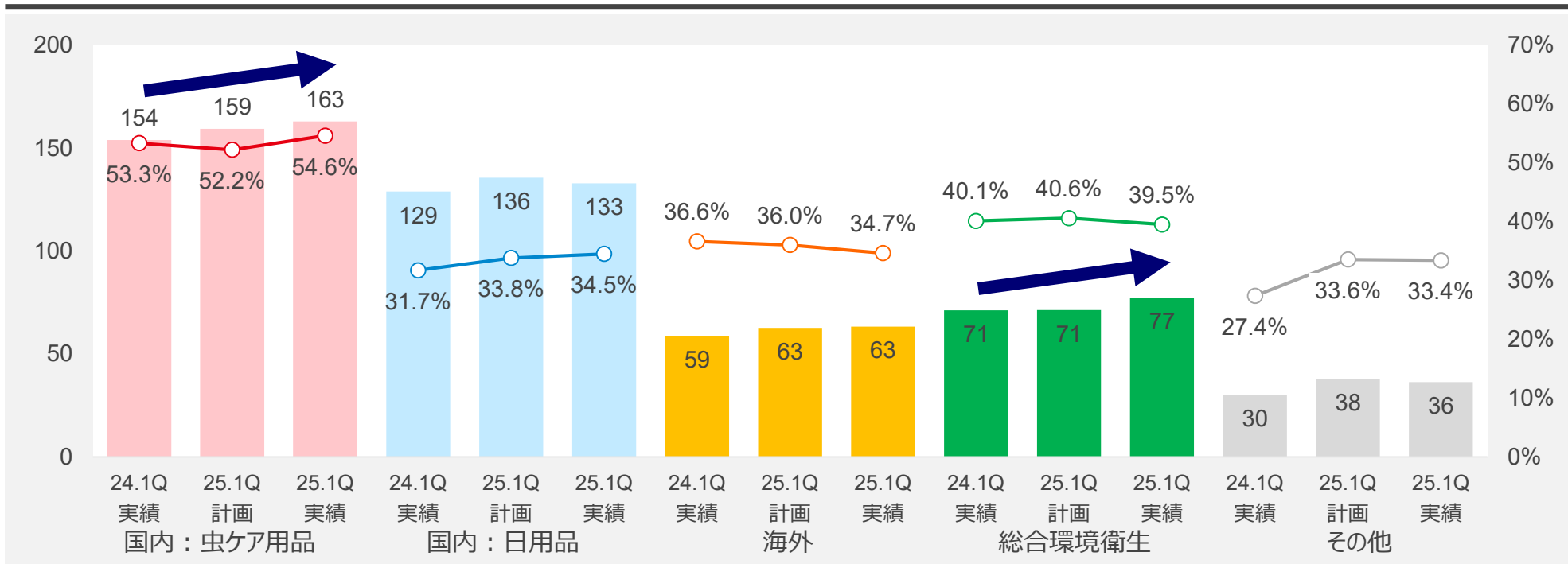
	24.1Q実績		25.1Q計画		25.1Q実績		比較			
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	前期差	前期比	計画差	計画比
売上高	420.4	100.0%	448.5	100.0%	447.8	100.0%	27.3	106.5%	▲ 0.6	99.8%
売上原価	238.5	56.7%	253.0	56.4%	249.5	55.7%	10.9	104.6%	▲ 3.4	98.6%
売上総利益	181.9	43.3%	195.5	43.6%	198.2	44.3%	16.3	109.0%	2.7	101.4%
販管費	132.1	31.4%	144.5	32.2%	135.5	30.3%	3.4	102.6%	▲ 8.9	93.8%
営業利益	49.7	11.8%	51.0	11.4%	62.6	14.0%	12.9	125.9%	11.6	122.9%
経常利益	51.4	12.2%	54.2	12.1%	61.5	13.8%	10.1	119.6%	7.3	113.6%
親会社帰属四半期純利益	35.3	8.4%	39.0	8.7%	46.7	10.4%	11.4	132.5%	7.7	120.0%

管理会計ベース 売上高・粗利率 (24vs25)

- 国内 虫ケア : 出荷は順調、既に実施した価格改定効果等により粗利率が上昇
- 国内 日用品 : 入浴剤、口腔衛生用品は前期からの施策効果もあり、収益性が改善傾向
- 海外 : エリアによってバラつきはあるが全体では順調、関税影響は現時点ではなし
- 総合環境衛生 : 安定成長を継続

ポートフォリオ別売上高・粗利率

(単位: 億円)



国内：虫ケア用品 事業の状況

- 市況：3月末時点では前期比107%、3月末時点の市場規模が通年に占める割合は5%程度であり、4月以降の状況を注視
- 出荷：新製品を含んだ、ゴキブリ・不快害虫・虫よけカテゴリの製品が寄与
- 売上構成の変化により粗利率が改善

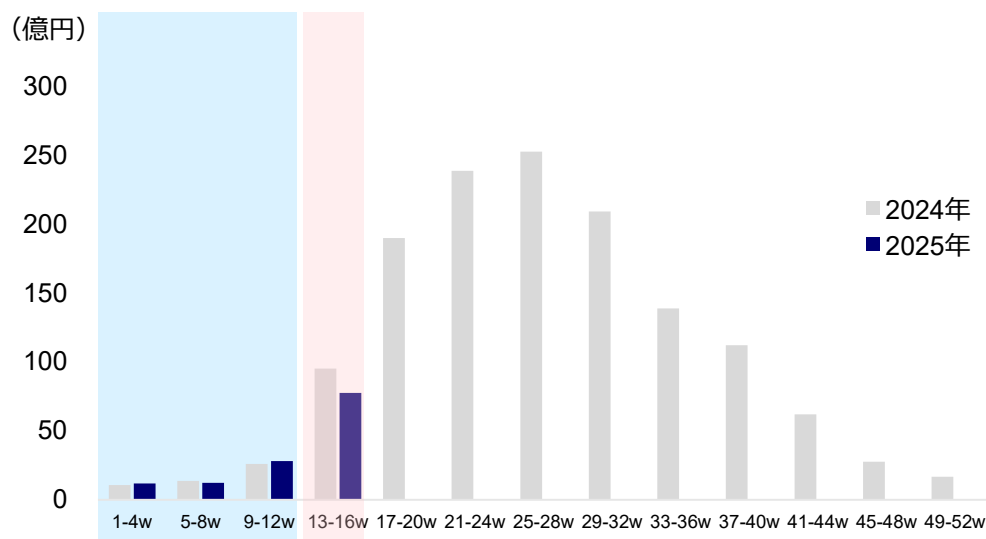
3月末（12週末）時点の市場状況、当社市場シェア

【市場前期比】

107.1%

【当社市場シェア】

61.7% (+2.5pt)



注力新製品の動向



はだまも

【計画比】

127%



ゼロノナイト
イヤな虫用 ジェット

【計画比】

100%

価格改定品（計125SKU）の動向

【計画比】

▲1.7億円

国内：日用品（入浴剤） 事業の状況

- 3月末の市場全体は前年を上回る推移である一方、剤型によってはバラつきが見られる
- 『温泡 デカまる』、『きき湯』などはプロモーション効果もあり伸長
- 『バスクリン』、『バスロマン』の出荷は好調だが、店頭での消化は前年を下回る

市場規模・当社G市場シェア推移

【市場前期比】

104.8%

【当社市場シェア】

43.5% ▲1.3pt

基幹商品の出荷動向

・ バスクリン／バスロマン



計画比 **103%**

・ 温泡



計画比 **104%**

・ きき湯



計画比 **113%**

・ BARTH



計画比 **121%**

国内：日用品（洗口液） 事業の状況

- 昨年からのプロモーションの強化や若年層を対象とした商品戦略の実践の効果が顕在化
- 下期には基幹ブランド『モンダミン』のブランドリニューアルを予定
- 「お口年齢ケア」という新概念を訴求し、美容・健康へ関心の高い洗口液ノンユーザーへアプローチを目指す

市場規模・当社市場シェア推移

【市場前期比】

96.9%

【当社市場シェア】

18.8% +0.8pt

『モンダミン』ブランドリニューアルの施策

- 年末までに過去最大級のTVCM投下
- プロモーションの強化により販売を後押し
- リニューアルに伴い、SKUの最適化



1987年



2025年 秋

海外 事業の状況

ASEAN中核エリア（タイ・ベトナム）

【タイ】

- MT、TTチャネルへの営業強化などにより市場シェアは上昇、円貨・現地通貨ベースとも計画達成

【ベトナム】

- 営業体制の変更やプロモーション効果が想定を下回り、円貨・現地通貨ベースとも計画未達

ASEAN展開拡張エリア（マレーシア・フィリピン）

【マレーシア】

- キャンペーンや店頭展開の強化により、円貨・現地通貨ベースとも計画達成

【フィリピン】

- 一部商品の欠品が発生し、1Qでは円貨・現地通貨ベースとも計画未達の状況、今後リカバー策を講じる

中国

- リアル店舗は順調であるものの、主要店舗での虫ケア用品の立ち上がりが遅れ、現地通貨ベースでは計画未達

輸出ビジネス

- サウジアラビアは天候要因によりセルアウトが停滞するも、台湾・フランスが堅調に推移し、増収および計画達成

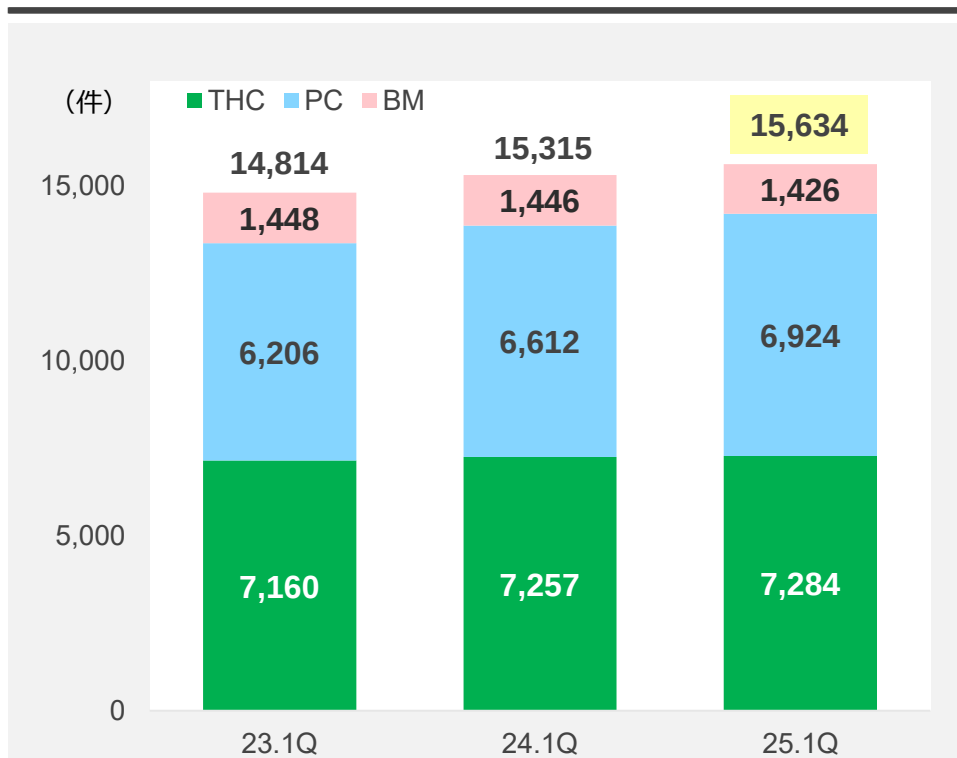
（単位：億円）



総合環境衛生 事業の状況

- 外部要因の影響もあり、専門的な知識や技術、ノウハウをもって提供する衛生管理サービスへの需要増加に伴い、契約件数と契約金額が着実に増加

総合環境衛生 年間契約件数推移



実績好調な背景

外部要因

- 異物混入事件、国内の法改正などによる、顧客の衛生管理意識の高まり
- 製造業の設備投資の増加

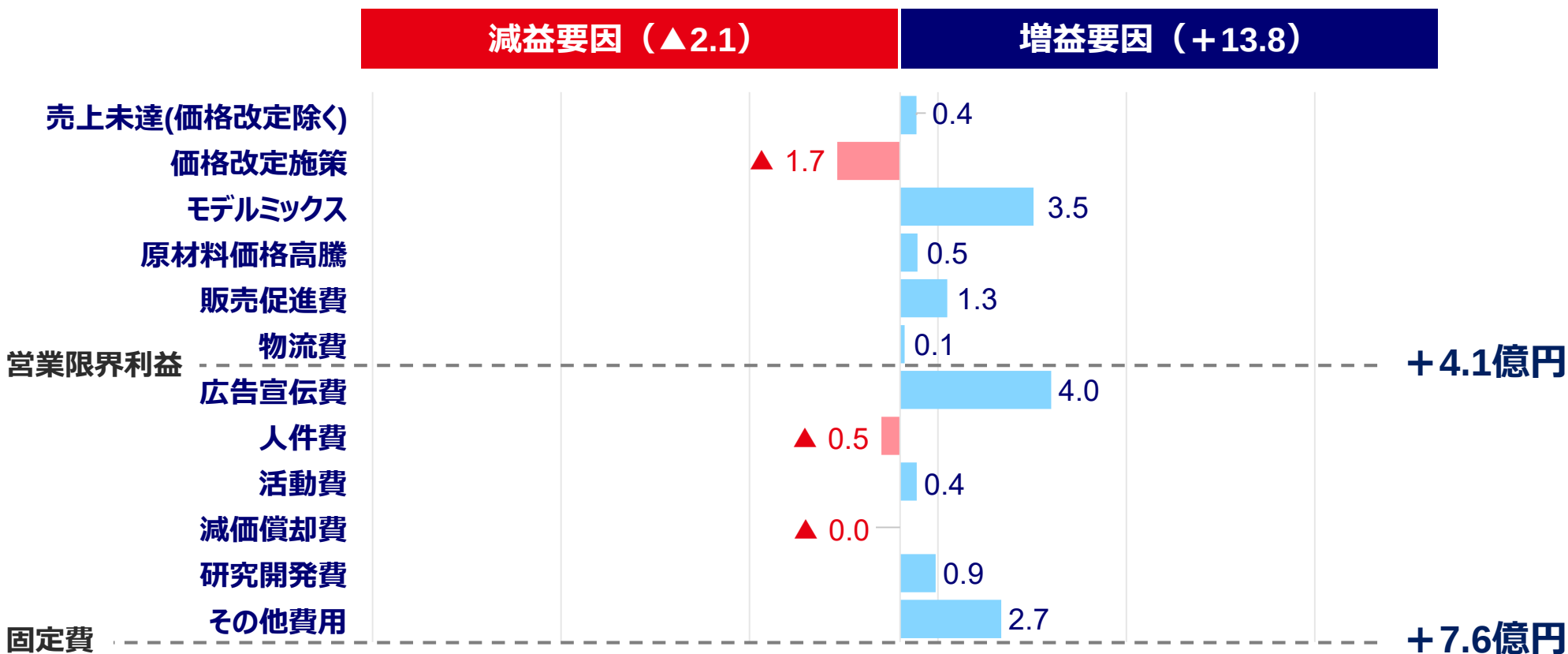
内部要因

- 専門性や技術開発力の強化に向けた投資の積極化
- ライフサイエンス分野向け検査設備の拡充
- AIを活用した監視システムの上市

営業利益変動要因（計画比）

- 事業ごとの変動、売上構成の変化などにより、モデルミックスの効果が大きい
- 価格改定施策の効果は計画を下回っており、今後の状況の注視が必要
- 1Q時点での経費予算の未消化により、営業利益が大きく上振れているが、経費については2Q以降での消化を見込む

（単位：億円）



国土強靱化担当大臣賞受賞

- MA-T®と㈱シリウスの「洗身用具 switleBODY」を活用した避難所での感染症対策と衛生環境保持の仕組み作りが受賞



https://www.cao.go.jp/minister/2411_m_sakai/photo/2025_023.html

バイオメタノール合成法を開発

- 大阪大学・大和ハウス工業との共同研究で、常温・常圧下でバイオガス中のメタンからバイオメタノールを高変換率で合成する方法を開発
- この技術は、非化石由来のバイオガスからもメタノール合成を可能にし、脱炭素化に貢献すると期待される
- メタノール製造装置の小型化も可能になり、温室効果ガス削減にもつながる

<https://corp.earth.jp/jp/news/2025/pdf/20250424-04.pdf>

ペット保険No.1アニコムとの独占契約締結

- MA-T®を活用した「ペット用 MA-T® 口腔ケアジェル」について、ペット保険シェアNo.1のアニコム損害保険(株)のグループ会社、アニコム パフェと独占販売契約を締結
- これにより、アニコム パフェが同商品を動物病院やペットショップなどで独占販売



<https://corp.earth.jp/jp/news/2025/pdf/20250424-03.pdf>

大阪・関西万博へ出展

- 日本MA-T工業会が「大阪ヘルスケアパビリオン」の「ミライのヘルスケア」ゾーンに出展。加盟企業が取り組む、ペット用口腔ジェル、マウスウォッシュ、シャワーゲートを通してMA-T®を体感



<https://corp.earth.jp/jp/news/2025/pdf/20250424-05.pdf>

■ 目的

- 2017年に資本業務提携を締結し、園芸用品市場において営業・マーケティング活動、製品開発を協働
- 当社は国内事業における成長チャレンジ領域として園芸用品を位置付けており、両社の経営資源をフレキシブルに活用することにより、更なる発展を目指す

■ (株) プロトリーフについて

- 事業内容：園芸資材の製造・卸・小売及び造園の設計、施工、管理
- 2024年6月期の業績：売上3,863百万円、営業利益132百万円
- 園芸用培養土の市場において高い認知度

■ 特別利益の計上

- 同社株式の追加取得に伴い、段階取得にかかる差益349百万円を計上

2025年 計画ハイライト



(単位：億円)

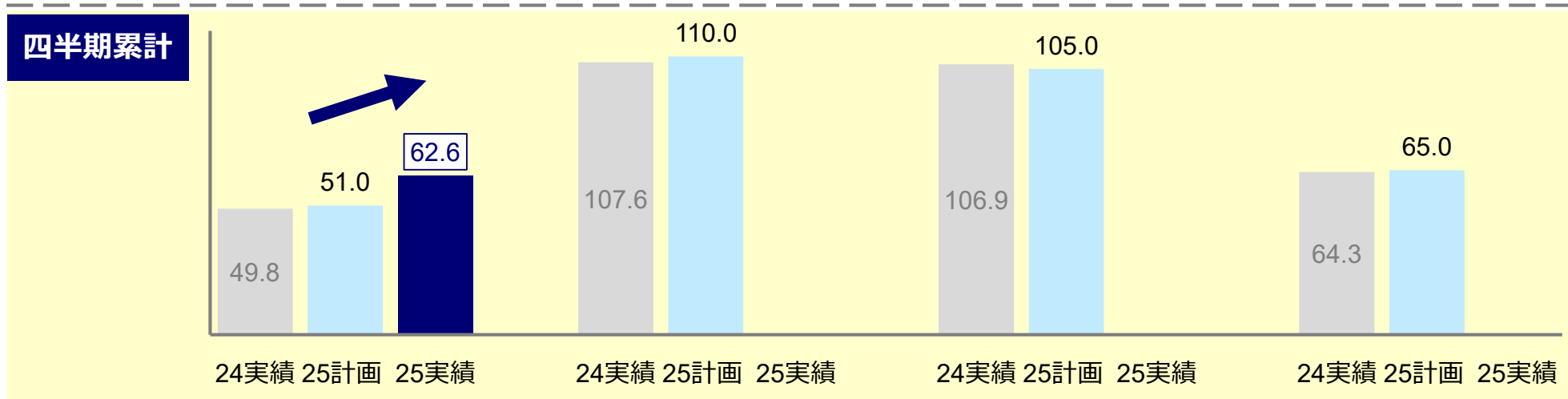
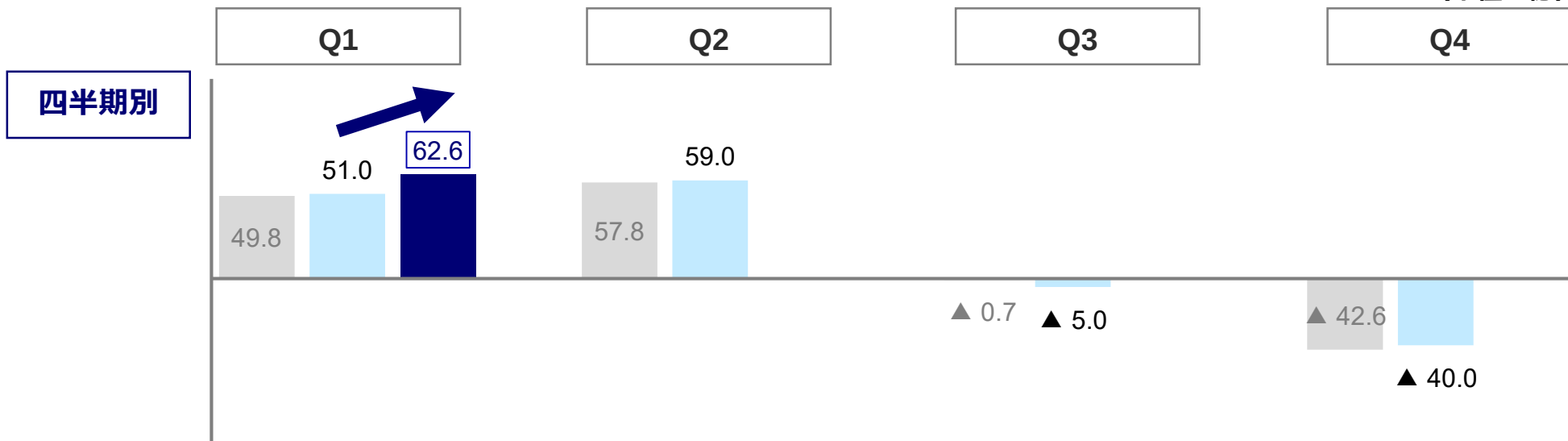
- 2025年2月13日公表の数値から変更なし
- 構造改革の推進に伴う一時的な費用の発生や人件費、広告宣伝費を中心に固定費が増加する一方で、『稼ぐ力』の増大により前期を上回る営業利益を確保できる見込み

	2025 計画	ポイント	2024 実績
売上高	1,750	・ 中期経営計画で掲げた目標を一年前倒しで達成	1,692
売上総利益	723.0	・ 価格改定に伴う収益性向上が寄与 ・ 原材料価格高騰の影響は、過年度に比べて限定的	689.6
販管費	658.0	・ WTP向上に向けて広告宣伝費を24年比15億円積み増し ・ 構造改革費用含む一時費用として15億円を計画	625.4
営業利益	65.0	・ 一時費用の発生、将来成長に向けた費用増をこなし、 2024年並みの利益計画を見込む	64.2
親会社株主帰属 当期純利益	43.0	・ 営業外収支は保守的に見積もり ・ 特別利益／損失に大きなものは想定していない	34.7
ROE	6.2%	・ 24年比で+1.1ptの改善見込み ・ 中期経営計画目標に対して順調な推移を見込む	5.1%

APPENDIX.

営業利益の進捗（四半期別・累計）

（単位：億円）



アースグループ 中長期構想

SLOGAN

グループの総力、アースの明日へ



2021 2022 2023 2024 2025 2026 2027 2028 ...

COMPASS 2023

COMPASS 2026

次期中計

収益構造改革・体制づくり

売上をつくる：海外

収益をつくる：国内

シェア
拡大

市場
開拓

事業の
見直し

事業
ポートフォリオ
転換

資源配分の
最適化

グローバル展開の強化

虫ケアに次ぐ
第2の収益の柱づくり

基盤をつくる：グループ

海外・グループ企業
管理強化

M&A体制強化

投資採算性向上

多様な事業展開の
基盤構築

グループ再編と
利益体質強化

グループ売上と
利益の最大化

営業
利益率

目指す事業ポートフォリオ

■ 国内、海外、総合環境衛生、MA-Tの4本柱による収益拡大を目指す

国内	海外	総合環境衛生事業	MA-T
季節性の影響を最小限に 企業の核となる収益を確保	ASEAN中心に 成長のドライバーとする	安定収益の確保	季節要因に左右されない 新規ビジネスを開拓
 シェアNo.1の維持 (虫ケア用品、入浴剤)  日用品の収益確保 ・ 洗口液・消臭芳香剤 ・ 家庭用マスク  成長チャレンジ ・ 園芸用品 ・ ペット用品	 グローバルシェア 虫ケア用品No.2  24カ国にFocusした 展開拡大  グローバルブランド育成 ・ 虫ケア用品 ・ オーラルケア ・ 消臭芳香	 技術力・教育・専門性 の3つの柱の確立  「環境ドクター」による品質 保証支援サービスの錬磨  新分野へのサービス展 開と持続的に成長し続 ける事業基盤への変革	 液剤ビジネスでの 安定収益確保  ライセンスPFによる ビジネスモデル構築  社会課題の解決に 資するMA-T®技術の 社会実装
【今期の主な取り組み】 - コア収益品の価格改定実施『アースノーマット』 - WTP向上に向けた 広告宣伝費の積み増し、 マーケティング施策の積極化	【今期の主な取り組み】 - 各国Top15アカウントの攻略 - 虫ケアブランドの配荷拡大 (エアゾール・虫よけ) - 公的機関との接点拡大	【今期の主な取り組み】 - 年間契約からの売上比率 70%の実現 - 彩都総合研究所を拠点に、 技術開発、人材育成を強化	【今期の主な取り組み】 社会実装の促進に向けた 認知度拡大施策 『大阪・関西万博2025』

健康経営の取り組み

- 従業員の健康管理を重要な経営課題と捉え、部門横断チームを組織
- 戦略マップに基づいた各施策はKPIを検証しながら、取り組みを実施し、従業員の健康管理をフォロー

■ 健康経営優良法人2025 ホワイト500に 5年連続認定



■ 健康経営銘柄 2025に初めて選定



2025年3月11日リリース

[健康経営に特に優れた企業として「健康経営銘柄2025」に初選定！「健康経営優良法人～ホワイト500～」にも5年連続で認定](#)



アース製薬

2025年12月期 1Q決算説明補足資料

【連結】損益計算書



(単位：百万円)

	2024年 1Q累計実績	2025年 1Q累計計画	2025年 1Q累計実績	前期増減	前期比	計画増減	計画比	2025年 年間計画	前期比
売上高	42,049	44,850	44,782	2,732	106.5%	▲ 67	99.8%	175,000	25.6%
売上原価	23,856	25,300	24,955	1,098	104.6%	▲ 344	98.6%	102,700	24.3%
売上総利益	18,192	19,550	19,826	1,633	109.0%	276	101.4%	72,300	27.4%
販管費	13,214	14,450	13,556	342	102.6%	▲ 893	93.8%	65,800	20.6%
営業利益	4,978	5,100	6,269	1,291	125.9%	1,169	122.9%	6,500	96.5%
営業外収益	182	400	138	▲ 43	75.9%	▲ 261	34.6%	850	16.3%
営業外費用	12	80	248	236	2060.7%	168	310.4%	250	99.3%
経常利益	5,148	5,420	6,159	1,010	119.6%	739	113.6%	7,100	86.8%
特別利益	4	1	349	345	7283.4%	348	23321.5%	0	
特別損失	4	0	4	0	95.6%	4		370	1.2%
税引前利益	5,149	5,418	6,505	1,356	126.3%	1,086	120.1%	6,730	96.7%
法人税等	1,543	1,432	1,770	226	114.7%	337	123.6%	2,085	84.9%
四半期純利益	3,605	3,986	4,735	1,129	131.3%	748	118.8%	4,644	101.9%
非支配株主帰属四半期純利益	75	86	57	▲ 18	75.1%	▲ 29	66.1%	344	16.5%
親会社株主帰属四半期純利益	3,530	3,900	4,678	1,148	132.5%	778	120.0%	4,300	108.8%
粗利率	43.3%	43.6%	44.3%	1.0pt		0.7pt		41.3%	
営業利益率	11.8%	11.4%	14.0%	2.2pt		2.6pt		3.7%	
税前利益率	12.2%	12.1%	14.5%	2.3pt		2.4pt		3.8%	

【連結】部門別売上高



(単位：百万円)

	2024年 1Q累計実績	2025年 1Q累計計画	2025年 1Q累計実績	前期増減	前期比	計画増減	計画比	2024年 年間計画	進捗率
虫ケア用品部門 計	20,509	21,247	21,766	1,975	110.0%	518	102.4%	71,362	30.5%
口腔衛生用品	1,722	2,013	1,888	▲ 101	94.9%	▲ 124	93.8%	9,231	20.5%
入浴剤	5,772	5,921	6,127	▲ 302	95.3%	205	103.5%	25,615	23.9%
その他日用品	7,893	8,188	7,801	▲ 211	97.4%	▲ 386	95.3%	34,298	22.7%
日用品部門 計	15,388	16,122	15,817	▲ 615	96.3%	▲ 305	98.1%	69,145	22.9%
ペット用品・その他部門 計	2,909	3,292	3,081	430	116.2%	▲ 210	93.6%	12,586	24.5%
家庭用品事業 計	38,807	40,662	40,665	1,790	104.6%	3	100.0%	153,094	26.6%
総合環境衛生事業 計	7,125	7,128	7,729	1,136	117.2%	600	108.4%	31,500	24.5%
内部売上高含む合計	45,933	47,790	48,394	2,926	106.4%	603	101.3%	184,594	26.2%
(調整分)	▲ 3,883	▲ 2,940	▲ 3,612	▲ 143		▲ 671		▲ 9,594	
総合計	42,049	44,850	44,782	2,782	106.6%	▲ 67	99.8%	175,000	25.6%
(構成比)									
虫ケア用品部門	43.5%	44.5%	45.0%	1.4pt		0.5pt		38.7%	
日用品部門	36.1%	33.7%	32.7%	▲ 3.5pt		▲ 1.1pt		37.5%	
ペット用品・その他部門	5.8%	6.9%	6.4%	0.5pt		▲ 0.5pt		6.8%	
家庭用品事業	85.5%	85.1%	84.0%	▲ 1.5pt		▲ 1.1pt		82.9%	
総合環境衛生事業	14.5%	14.9%	16.0%	1.5pt		1.1pt		17.1%	

【連結】販管費



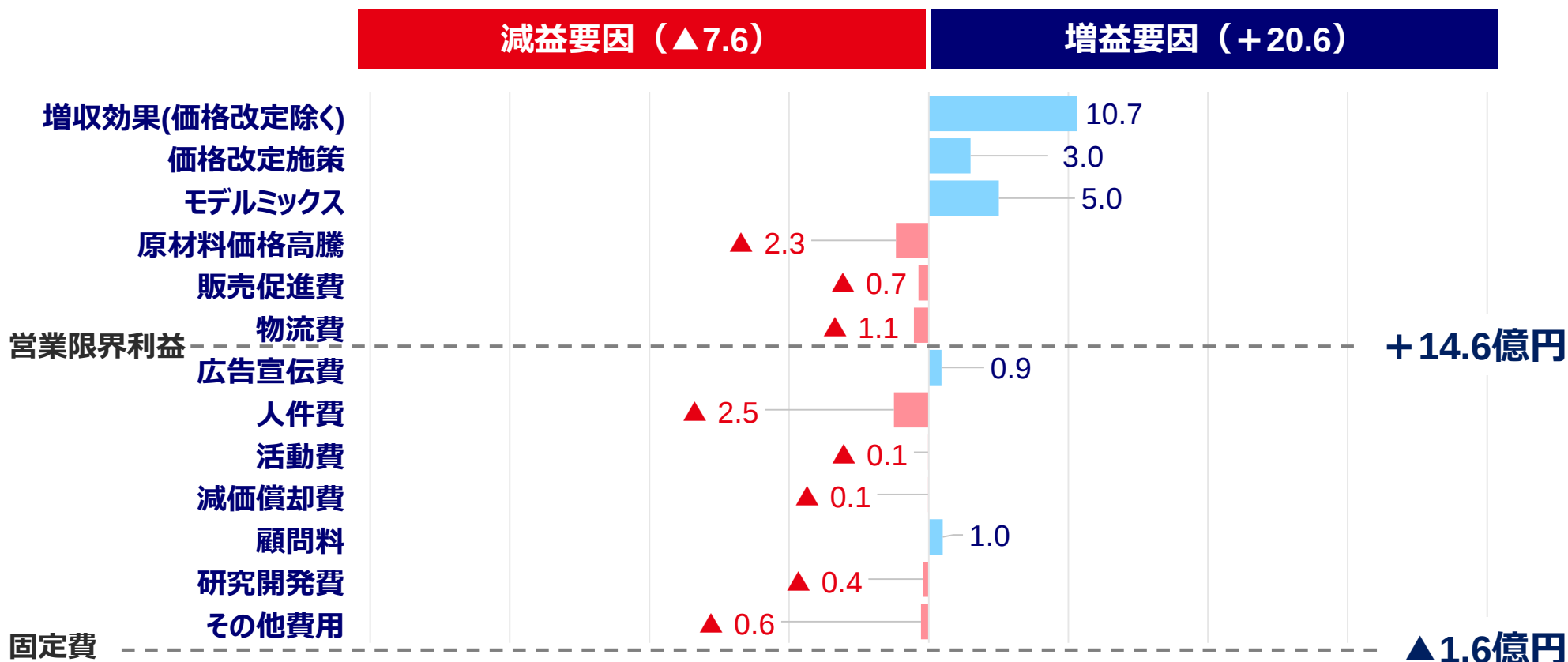
(単位：百万円)

	2024年 1Q累計実績	2025年 1Q累計計画	2025年 1Q累計実績	前期増減	前期比	計画増減	計画比	2025年 年間計画	進捗率
人件費	5,539	5,738	5,788	249	104.5%	50	100.9%	23,278	24.9%
運送費	1,027	1,105	1,135	108	110.5%	30	102.7%	5,062	22.4%
保管料	690	730	688	▲ 2	99.7%	▲ 42	94.2%	2,960	23.2%
広告宣伝費	988	1,297	896	▲ 91	90.7%	▲ 400	69.1%	10,496	8.5%
販売促進費	171	369	244	73	142.7%	▲ 124	66.1%	1,230	19.8%
研究開発費	722	857	763	40	105.7%	▲ 93	89.0%	3,669	20.8%
減価償却費	477	482	482	5	101.0%	0	100.0%	1,968	24.5%
のれんの償却費	34	31	31	▲ 3	91.2%	0	100.0%	124	25.0%
旅費交通費	341	403	347	5	101.8%	▲ 56	86.1%	1,770	19.6%
交際費	171	158	170	▲ 1	99.4%	11	107.6%	838	20.3%
支払手数料	382	490	405	23	106.0%	▲ 84	82.7%	2,015	20.1%
販売手数料	319	311	321	1	100.6%	9	103.2%	1,206	26.6%
雑費	128	213	133	4	103.9%	▲ 80	62.4%	1,443	9.2%
その他	2,225	2,266	2,153	▲ 69	96.8%	▲ 114	95.0%	9,741	22.1%
販管費 計	13,214	14,450	13,556	342	102.6%	▲ 893	93.8%	65,800	20.6%
(構成比)									
人件費比率	13.2%	12.8%	12.9%	▲ 0.2pt		0.1pt		14.1%	
広告宣伝費比率	2.3%	2.9%	2.0%	▲ 0.3pt		▲ 0.9pt		6.4%	
研究開発費比率	1.7%	1.9%	1.7%	▲ 0.0pt		▲ 0.2pt		2.2%	

営業利益変動要因（前期比）

- 虫ケア用品を中心とした増収効果、高単価製品へのシフトに伴う増益が大きく寄与
- コストダウンを進めるも原材料価格高騰の影響は残るが、価格改定施策の効果により吸収
- 施策に基づく広告宣伝費の投下を推進

（単位：億円）



【グループ各社】業績概況



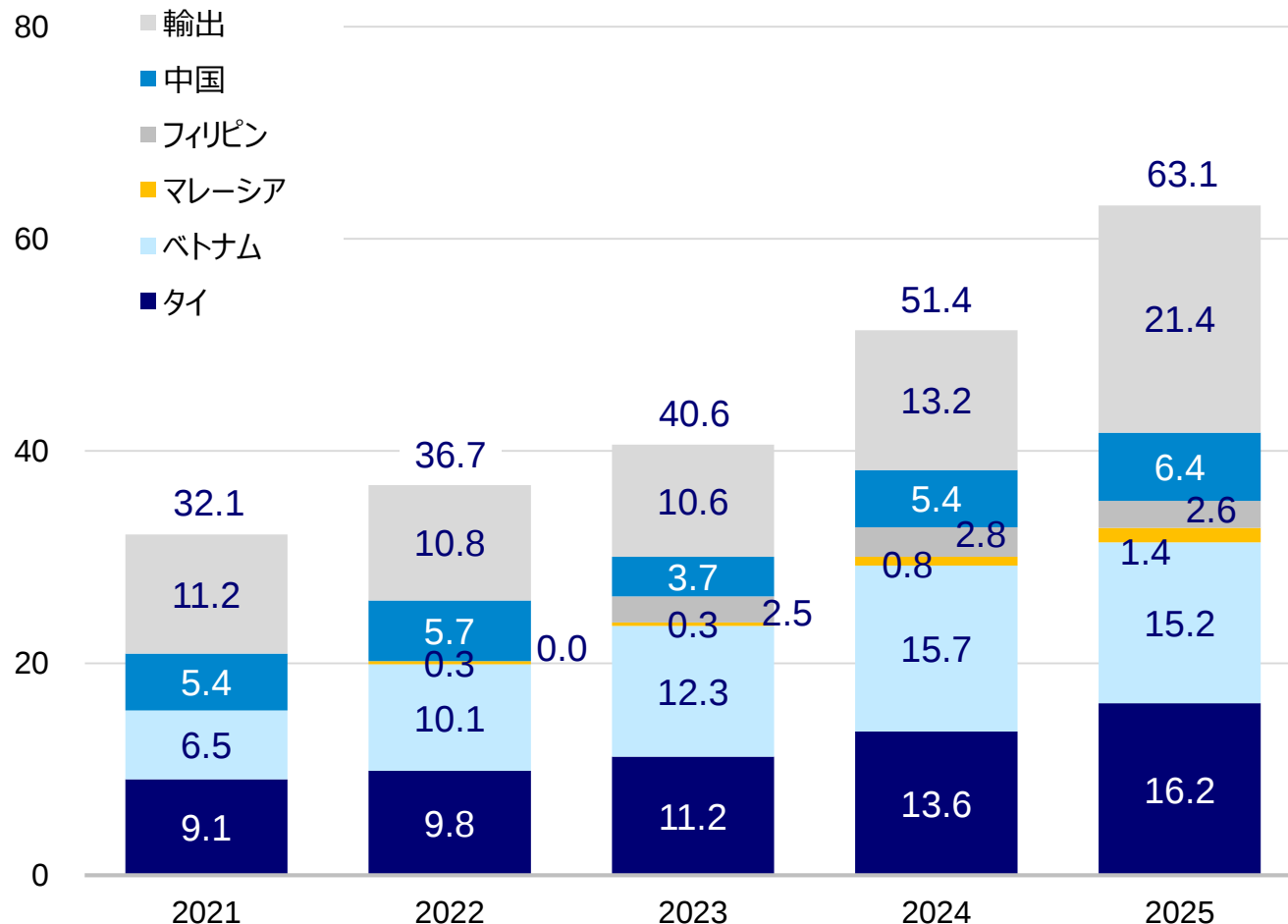
(単位：百万円)

アース製薬				バスクリン			白元アース			アース・ペット		
(単位：百万円)	2024年 1Q累計実績	2025年 1Q累計計画	2025年 1Q累計実績	2024年 1Q累計実績	2025年 1Q累計計画	2025年 1Q累計実績	2024年 1Q累計実績	2025年 1Q累計計画	2025年 1Q累計実績	2024年 1Q累計実績	2025年 1Q累計計画	2025年 1Q累計実績
売上高	23,672	25,070	25,242	3,373	3,361	3,348	3,649	4,148	3,828	1,688	1,773	1,655
売上総利益	10,392	11,363	11,847	1,233	1,217	1,213	1,189	1,417	1,249	611	595	523
営業利益	4,054	4,392	5,578	▲ 66	▲ 34	▲ 2	60	125	1	45	▲ 9	▲ 101
Earth(Thailand)Co.,Ltd.				Earth Corporation Vietnam			EARTH HOME PRODUCTS (MALAYSIA)			EARTH HOMECARE PRODUCTS (PHILIPPINES)		
(単位：百万円)	2024年 1Q累計実績	2025年 1Q累計計画	2025年 1Q累計実績	2024年 1Q累計実績	2025年 1Q累計計画	2025年 1Q累計実績	2024年 1Q累計実績	2025年 1Q累計計画	2025年 1Q累計実績	2024年 1Q累計実績	2025年 1Q累計計画	2025年 1Q累計実績
売上高	2,070	2,133	2,374	1,698	1,707	1,642	81	113	138	278	259	255
売上総利益	687	702	736	695	671	598	16	27	49	152	132	116
営業利益	304	288	308	217	127	64	▲ 38	▲ 41	▲ 15	60	0	▲ 23
安斯(上海)投資有限公司				天津阿斯化学有限公司			安速日用化学(蘇州)有限公司			アース環境サービス		
(単位：百万円)	2024年 1Q累計実績	2025年 1Q累計計画	2025年 1Q累計実績	2024年 1Q累計実績	2025年 1Q累計計画	2025年 1Q累計実績	2024年 1Q累計実績	2025年 1Q累計計画	2025年 1Q累計実績	2024年 1Q累計実績	2025年 1Q累計計画	2025年 1Q累計実績
売上高	538	872	636	1,277	1,032	1,214	476	310	328	7,125	7,128	7,729
売上総利益	235	345	276	195	154	222	67	76	80	2,859	2,894	3,055
営業利益	114	154	171	104	60	136	30	35	42	290	125	212

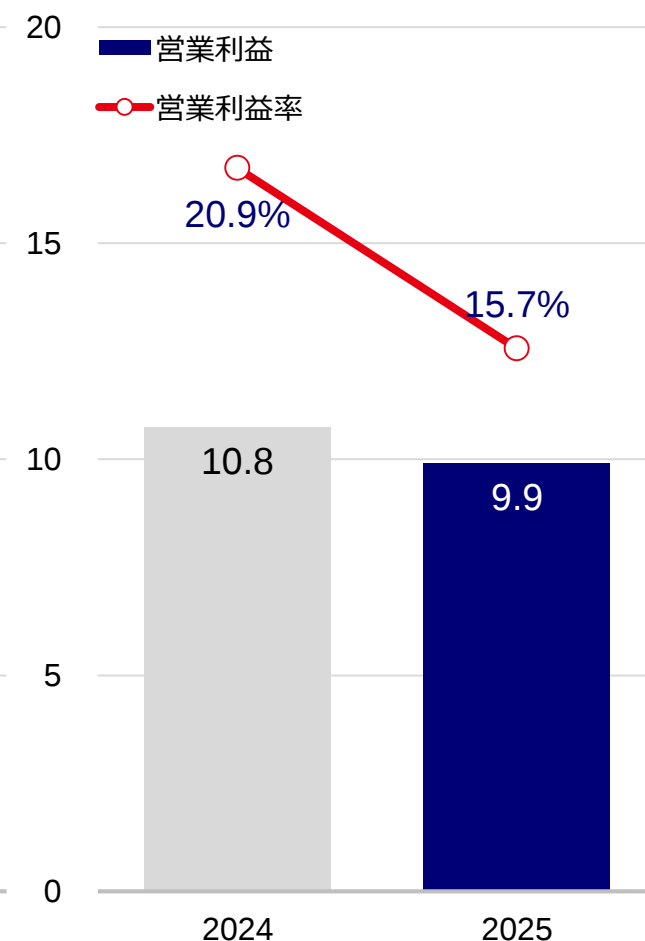
海外業績 (FY21-25 1Q累計実績)

(単位：億円)

海外売上高 外部顧客向けのみ（内部相殺分除く）



海外営業利益（単純合算）



【連結】貸借対照表

(単位：百万円)

		2024年 1Q末	2025年 1Q末	1Q末比 増減額	2024年 期末	期末対比 増減額
流動資産	現金及び預金	14,604	15,487	883	17,007	▲ 1,520
	売上債権	34,871	34,936	65	25,521	9,414
	たな卸資産	33,536	35,230	1,693	29,885	5,344
	その他	2,804	3,865	1,061	2,752	1,112
固定資産	有形固定資産	31,554	29,388	▲ 2,166	31,443	▲ 2,055
	無形固定資産	8,738	7,670	▲ 1,068	7,428	242
	投資その他の資産	18,876	22,008	3,131	21,690	317
資産 計		144,986	148,587	3,600	135,636	12,951
流動負債	仕入債務	37,699	36,732	▲ 967	32,667	4,064
	短期借入金	14,000	15,390	1,390	5,000	10,390
	その他	16,963	16,581	▲ 381	20,210	▲ 3,628
固定負債	長期借入金	0	261	261	0	261
	その他	2,731	3,754	1,022	3,105	648
負債 計		71,394	72,720	1,325	60,983	11,736
純資産	株主資本合計	62,335	62,645	309	60,578	2,067
	その他の包括利益累計額	5,916	7,423	1,507	8,287	▲ 864
	非支配株主持分	5,340	5,798	458	5,786	11
純資産 計		73,591	75,867	2,275	74,652	1,214

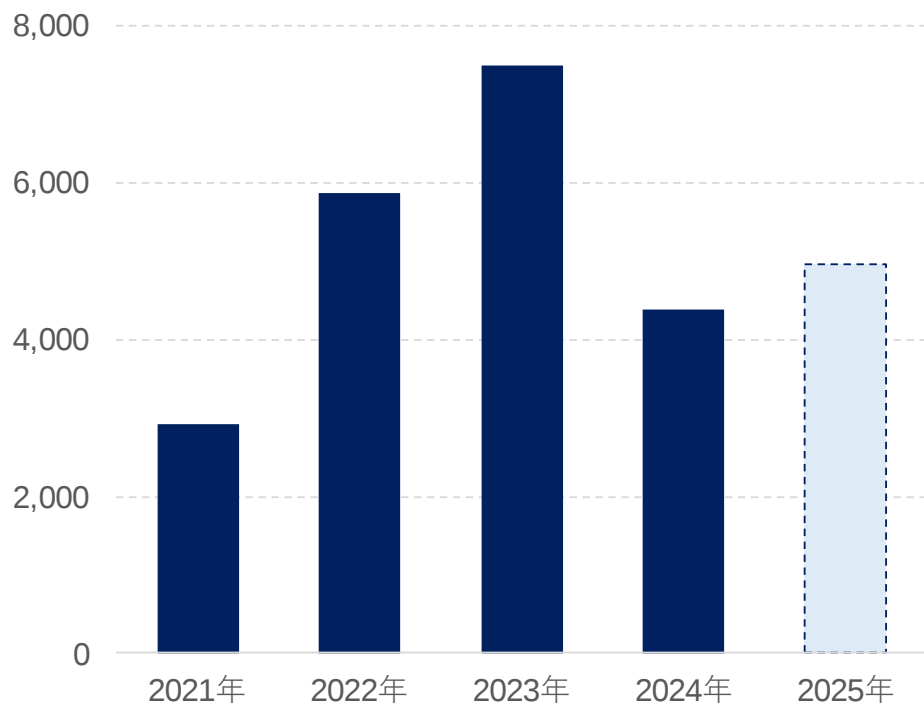
【連結】 設備投資額・減価償却費

(単位：百万円)

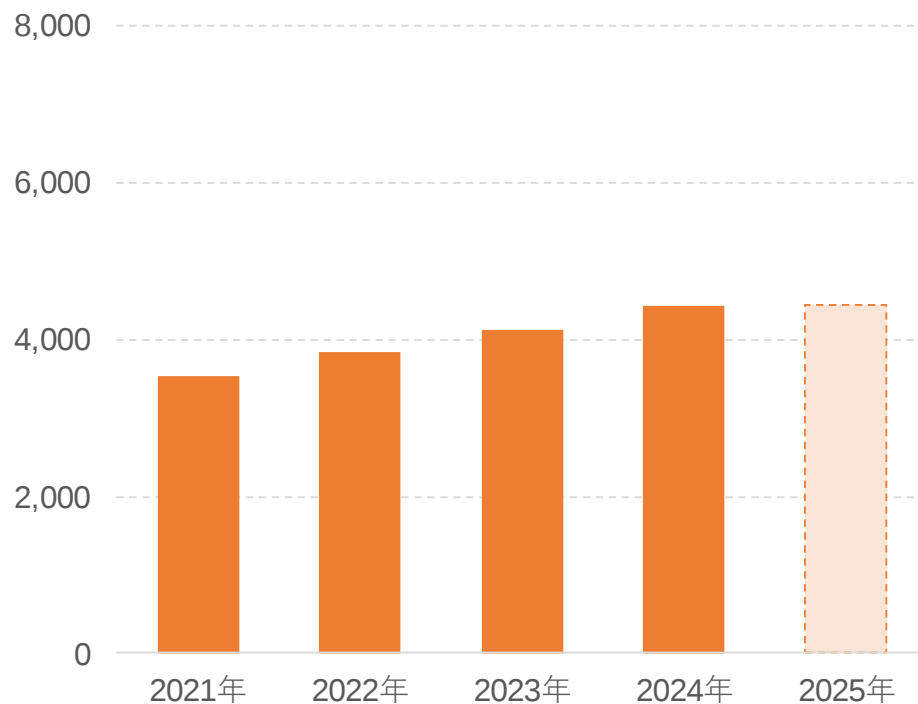
	2021年 実績	2022年 実績	2023年 実績	2024年 実績	2025年 計画
設備投資額	2,928	5,878	7,504	4,376	4,952

	2021年 実績	2022年 実績	2023年 実績	2024年 実績	2025年 計画
減価償却費	3,537	3,853	4,118	4,424	4,452

設備投資額



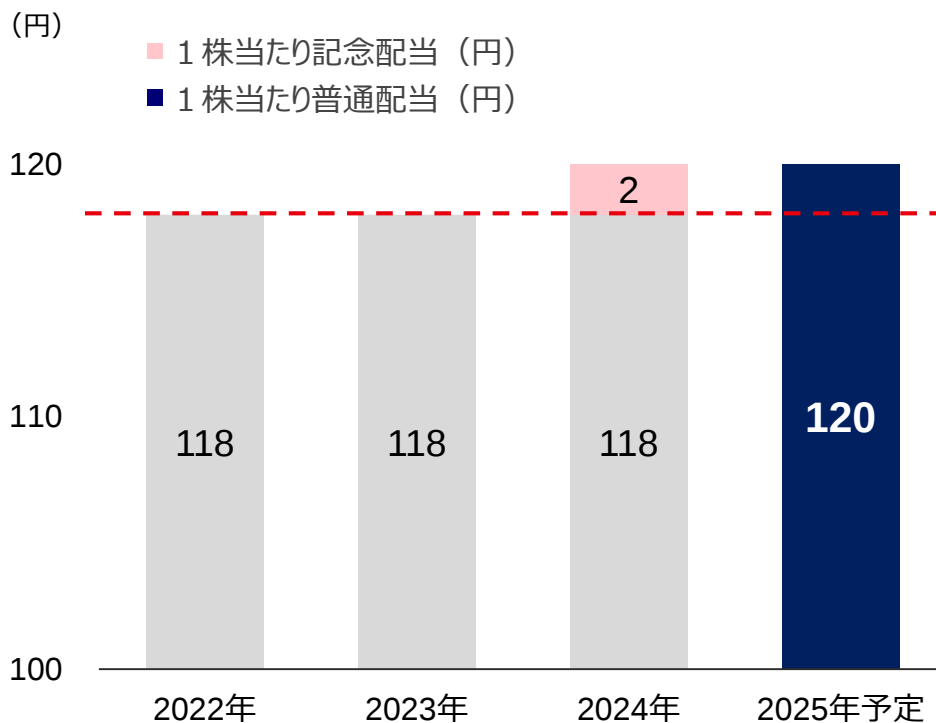
減価償却費



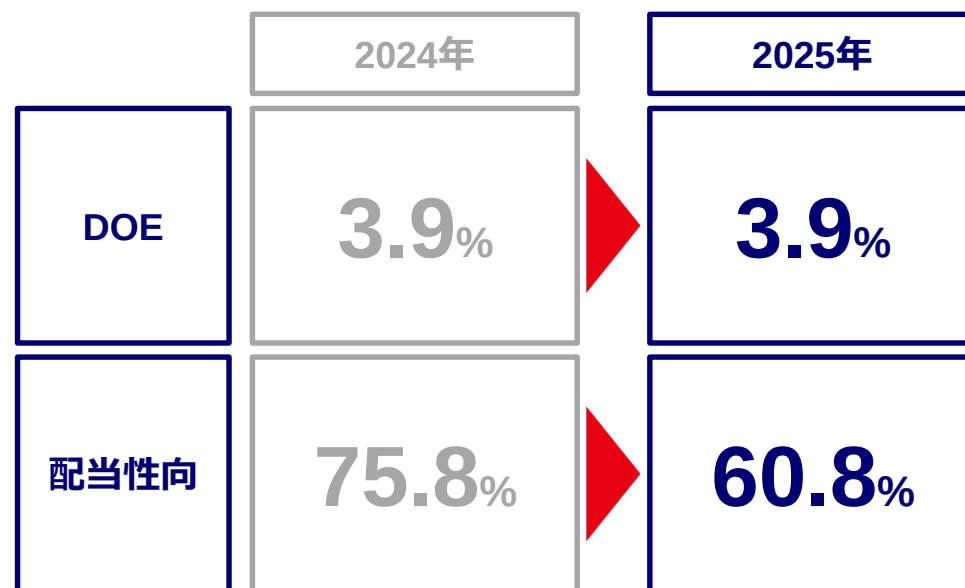
【株主還元ポリシー】

- 安定配当をベースに、業績や内部留保の水準に応じて、増配・自己株買いなど機動的に検討
- 2025年の1株当たり配当金は、**実質2円増配の120円**を予定

1株当たり配当金推移



配当関連KPI



地球を、キモチいい家に。



本資料で記述している将来予測および業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により実際の業績は記述している将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることを御承知おき下さい。